

2024(令和6)年度 PM2.5測定結果

一般局

環境基準 35.0 環境基準 15.0 政策目標超過

局 名	有効測定 日数	有効測定 時間数	微小粒子状物質 PM2.5										
			環境基準 達成状況	評価	短期基準				長期基準				
					98%値 μg/m ³	参考(年度値)			評価	年平均値 μg/m ³	参考(年度値)		
						2023	2022	2021			2023	2022	2021
千代田区神田司町	359	8616	○	○	25.9	25.5	22.8	23.5	○	10.6	12.0	11.5	10.3
中央区晴海	362	8679	○	○	24.1	22.0	21.5	22.5	○	9.3	9.5	9.8	8.7
港区高輪	359	8612	○	○	22.5	20.5	21.6	21.1	○	9.0	9.0	9.6	9.1
港区台場	359	8620	○	○	23.8	21.3	21.0	23.1	○	9.5	9.6	9.6	9.1
国設東京新宿	340	8311	○	○	23.1	19.2	18.3	17.5	○	8.7	8.7	8.2	7.9
文京区本駒込	358	8601	○	○	22.2	—	20.0	19.9	○	9.2	—	9.4	9.1
江東区大島	359	8623	○	○	23.5	21.0	21.6	22.8	○	9.2	9.2	9.4	9.0
品川区豊町	359	8626	○	○	23.5	22.0	20.9	20.4	○	9.3	9.2	9.2	8.8
品川区八潮	354	8522	○	○	22.3	22.6	23.7	22.4	○	9.5	10.4	9.9	9.6
目黒区碑文谷	358	8611	○	○	22.3	20.3	20.0	20.2	○	8.7	8.7	9.1	8.5
大田区東糀谷	358	8598	○	○	24.9	—	23.4	21.2	○	10.0	—	9.9	9.4
世田谷区世田谷	0	1			—	20.7	20.3	18.7		—	9.0	9.3	8.7
世田谷区成城	358	8581	○	○	20.6	20.5	19.3	18.6	○	8.9	8.6	9.2	8.5
渋谷区宇田川町	347	8357	○	○	22.8	21.6	21.4	20.5	○	9.5	10.2	10.0	9.0
中野区若宮	357	8555	○	○	20.8	19.6	19.6	20.7	○	8.4	8.3	8.7	8.4
杉並区久我山	359	8618	○	○	23.4	20.9	20.5	20.2	○	9.2	9.2	9.5	9.0
荒川区南千住	358	8577	○	○	24.5	22.1	22.6	24.3	○	9.6	9.8	10.5	9.7
板橋区氷川町	337	8124	○	○	23.2	22.0	21.2	20.3	○	9.4	9.4	9.7	9.0
練馬区石神井町	357	8589	○	○	22.5	18.9	18.9	20.5	○	8.8	8.7	8.9	8.7
練馬区北町	356	8583	○	○	24.0	22.3	22.5	21.7	○	9.6	10.2	10.3	9.6
練馬区練馬	362	8671	○	○	24.1	21.3	21.0	21.0	○	9.0	9.3	9.6	9.2
足立区西新井	359	8626	○	○	24.3	21.3	22.2	23.3	○	9.8	9.3	8.4	10.1
足立区綾瀬	362	8667	○	○	24.3	22.5	21.5	22.8	○	9.7	9.9	10.0	9.5
葛飾区鎌倉	340	8196	○	○	21.9	21.2	21.3	21.6	○	9.1	9.0	9.3	8.9
葛飾区水元公園	359	8618	○	○	20.8	19.5	20.0	20.0	○	8.4	8.6	8.8	8.5
江戸川区鹿骨	356	8579	○	○	21.7	21.7	21.1	22.3	○	9.1	9.6	9.8	9.2
江戸川区春江町	252	6118	○	○	23.4	18.8	19.6	19.5	○	8.9	8.3	8.8	8.0
江戸川区南葛西	355	8535	○	○	19.9	17.8	18.7	19.1	○	8.0	8.0	8.4	7.8
区部平均	—	—	27/27	27/27		—	—	—	27/27	9.2	9.3	9.5	9.0
八王子市片倉町	362	8655	○	○	20.6	16.8	21.2	17.2	○	7.3	6.8	7.9	6.9
八王子市館町	362	8654	○	○	20.5	20.2	21.4	18.5	○	7.7	7.4	7.6	7.1
八王子市大楽寺町	362	8649	○	○	19.7	18.7	19.5	18.6	○	6.4	6.5	7.1	6.4
立川市泉町	358	8596	○	○	22.0	19.3	18.6	17.9	○	9.0	8.5	8.2	7.9
武蔵野市関前	343	8265	○	○	21.5	19.4	19.3	20.3	○	9.3	8.9	8.9	8.5
青梅市東青梅	359	8606	○	○	23.0	22.5	21.2	20.6	○	8.7	9.3	9.9	9.1
府中市四谷※1	359	8627	○	○	19.7	17.8	17.2	15.9	○	7.8	7.7	7.6	6.8
調布市深大寺南町	359	8613	○	○	20.0	17.5	18.0	17.1	○	7.9	7.6	7.7	7.2
町田市金森	357	8594	○	○	20.6	17.7	18.3	18.2	○	7.9	7.7	7.9	7.4
町田市能ヶ谷	359	8620	○	○	21.7	21.0	19.6	18.5	○	8.2	9.0	9.7	8.0
小金井市東町※2	362	8655	○	○	20.7	19.3	—	—	○	8.4	8.2	—	—
小平市小川町	359	8610	○	○	21.1	18.6	19.6	19.3	○	9.0	8.5	8.7	8.0
福生市本町	353	8545	○	○	20.5	18.8	19.8	17.9	○	7.8	7.7	7.7	7.5
狛江市中和泉	362	8667	○	○	24.0	19.5	18.3	18.9	○	9.0	8.9	8.5	8.0
東大和市奈良橋	341	8228	○	○	22.7	20.3	19.5	18.6	○	8.8	8.9	8.8	8.0
清瀬市上清戸	355	8556	○	○	20.6	18.3	18.5	18.2	○	8.8	8.9	8.9	8.7
多摩市愛宕	362	8650	○	○	21.4	17.9	18.5	18.2	○	8.4	8.1	8.5	7.9
西東京市南町※3	358	8622	○	○	19.2	16.8	16.5	16.8	○	7.9	7.2	7.4	7.0
西東京市下保谷	359	8619	○	○	20.4	18.6	18.6	18.0	○	8.4	8.3	8.3	7.8
多摩部平均	—	—	19/19	19/19		—	—	—	19/19	8.2	8.1	8.3	7.7
都平均	—	—	46/46 (100%)	46/46 (100%)		—	—	—	46/46 (100%)	8.8	8.8	9.0	8.5

※1 2021年3月に府中市宮西町局から移設 ※2 2022年度まで休止 ※3 2020年3月に西東京市田無町局から移設

自排局

環境基準 35.0 環境基準 15.0 政策目標超過

局 名	有効測定 日数	有効測定 時間数	微小粒子状物質 PM2.5										
			環境基準 達成状況	短期基準					長期基準				
				評価	98%値 μg/m ³	参考(年度値)			評価	年平均値 μg/m ³	参考(年度値)		
						2023	2022	2021			2023	2022	2021
日比谷交差点	294	7073	○	○	23.8	23.6	21.9	22.1	○	10.5	10.7	11.1	10.1
永代通り新川	359	8630	○	○	23.7	23.2	22.8	23.4	○	10.0	10.2	10.6	9.6
第一京浜高輪※1	358	8597	○	○	28.9	26.4	—	—	○	12.6	13.2	—	—
新目白通り下落合	356	8576	○	○	22.8	22.2	21.6	20.3	○	9.8	10.1	10.5	9.6
春日通り大塚	359	8626	○	○	22.8	20.8	19.4	19.3	○	9.6	9.2	9.1	8.5
明治通り大関横丁	359	8629	○	○	24.2	22.3	22.5	24.5	○	9.8	10.2	10.6	9.8
水戸街道東向島	359	8632	○	○	20.9	19.3	19.7	20.3	○	8.6	8.6	9.0	8.2
京葉道路亀戸	359	8633	○	○	22.5	21.4	21.3	22.6	○	9.4	9.4	9.5	9.0
三ツ目通り辰巳	353	8543	○	○	22.9	21.7	21.3	20.9	○	9.3	9.2	9.6	8.7
北品川交差点	361	8649	○	○	23.4	22.0	22.1	23.0	○	9.5	9.6	9.9	9.8
中原口交差点	362	8667	○	○	24.1	22.8	22.0	22.2	○	9.7	9.8	10.0	9.3
山手通り大坂橋	359	8620	○	○	23.4	22.2	21.5	20.6	○	9.5	9.9	9.9	9.3
環七通り柿の木坂	359	8610	○	○	22.5	21.1	20.1	19.8	○	10.0	9.6	9.6	8.8
環七通り松原橋	359	8619	○	○	22.2	20.4	20.7	19.0	○	9.1	9.1	9.5	9.0
中原街道南千束	359	8611	○	○	21.2	18.5	18.6	17.8	○	8.0	7.7	8.4	7.8
環八通り千鳥	344	8317	○	○	20.7	18.4	18.5	17.7	○	8.0	7.6	8.1	7.5
玉川通り上馬※2	206	4966	○		—	—	—	—		—	—	—	—
環八通り八幡山	362	8668	○	○	21.6	21.5	20.5	20.1	○	8.6	9.0	9.6	9.2
甲州街道大原	359	8617	○	○	24.5	22.5	20.8	21.3	○	9.9	10.0	9.9	9.7
山手通り東中野	359	8622	○	○	20.8	19.1	18.4	18.1	○	8.3	8.0	8.4	7.9
早稲田通り下井草※3	0	0			—	—	18.7	19.1		—	—	8.8	8.3
明治通り西巢鴨	351	8467	○	○	21.8	20.2	20.2	18.0	○	8.9	8.9	9.2	8.1
北本通り王子	359	8621	○	○	22.4	22.0	21.2	23.0	○	9.6	9.9	9.9	9.5
中山道大和町	359	8631	○	○	24.3	23.2	22.7	22.3	○	10.6	10.3	10.7	10.1
日光街道梅島	357	8608	○	○	22.4	21.3	22.8	23.8	○	9.7	10.0	10.4	9.9
環七通り亀有	359	8628	○	○	23.0	22.1	21.6	22.1	○	10.0	9.8	9.8	9.3
区部平均	—	—	25/25	24/24		—	—	—	24/24	9.5	9.6	9.7	9.0
甲州街道八木町	362	8657	○	○	21.0	18.9	20.0	16.7	○	7.5	7.4	7.3	7.1
五日市街道武蔵境	358	8602	○	○	19.1	17.6	17.6	17.4	○	7.7	7.7	8.0	7.5
連雀通り下連雀	358	8620	○	○	21.5	19.6	19.9	20.0	○	8.9	8.7	8.9	8.8
川崎街道百草園	346	8326	○	○	20.4	18.0	18.5	19.5	○	8.3	8.2	8.4	8.2
新青梅街道東村山	359	8608	○	○	19.8	17.6	18.0	17.7	○	8.6	8.0	8.2	7.9
甲州街道国立	359	8614	○	○	21.8	18.1	18.0	18.4	○	9.0	8.4	8.3	8.0
小金井街道東久留米	359	8609	○	○	22.0	19.1	19.5	20.0	○	9.2	8.8	9.3	8.6
青梅街道柳沢	359	8620	○	○	21.5	20.1	20.8	20.5	○	9.6	9.3	9.8	8.8
東京環状長岡	359	8616	○	○	21.3	18.7	19.0	19.0	○	9.0	8.7	8.9	8.9
多摩部平均	—	—	9/9	9/9		—	—	—	9/9	8.6	8.4	8.6	8.2
都平均	—	—	34/34 (100%)	33/33 (100%)		—	—	—	33/33 (100%)	9.3	9.2	9.4	8.8

※1 2022年度まで休止 ※2 2016年12月から休止中 ※3 2022年12月から休止中

合計(一般局及び自排局)

局 名	有効測定 日数	有効測定 時間数	微小粒子状物質 PM2.5										
			環境基準 達成状況	短期基準					長期基準				
				評価	98%値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	参考(年度値)			評価	年平均値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	参考(年度値)		
						2023	2022	2021			2023	2022	2021
区部平均	—	—	51/51	51/51	—	—	—	—	51/51	9.4	9.4	9.6	9.0
多摩部平均	—	—	28/28	28/28	—	—	—	—	28/28	8.4	8.2	8.4	7.9
都平均	—	—	79/79 100%	79/79 100%	—	—	—	—	79/79 100%	9.0	9.0	9.2	8.6

バックグラウンド局

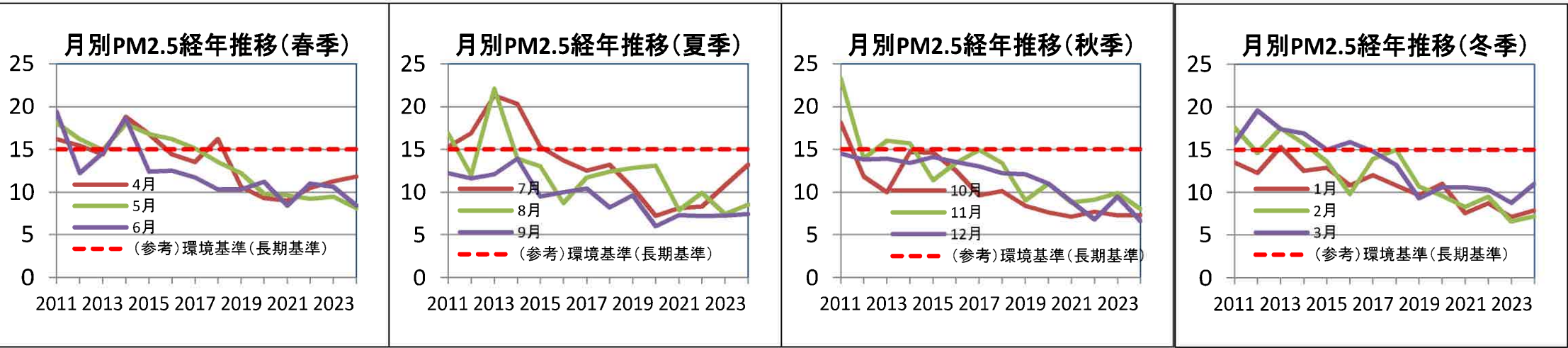
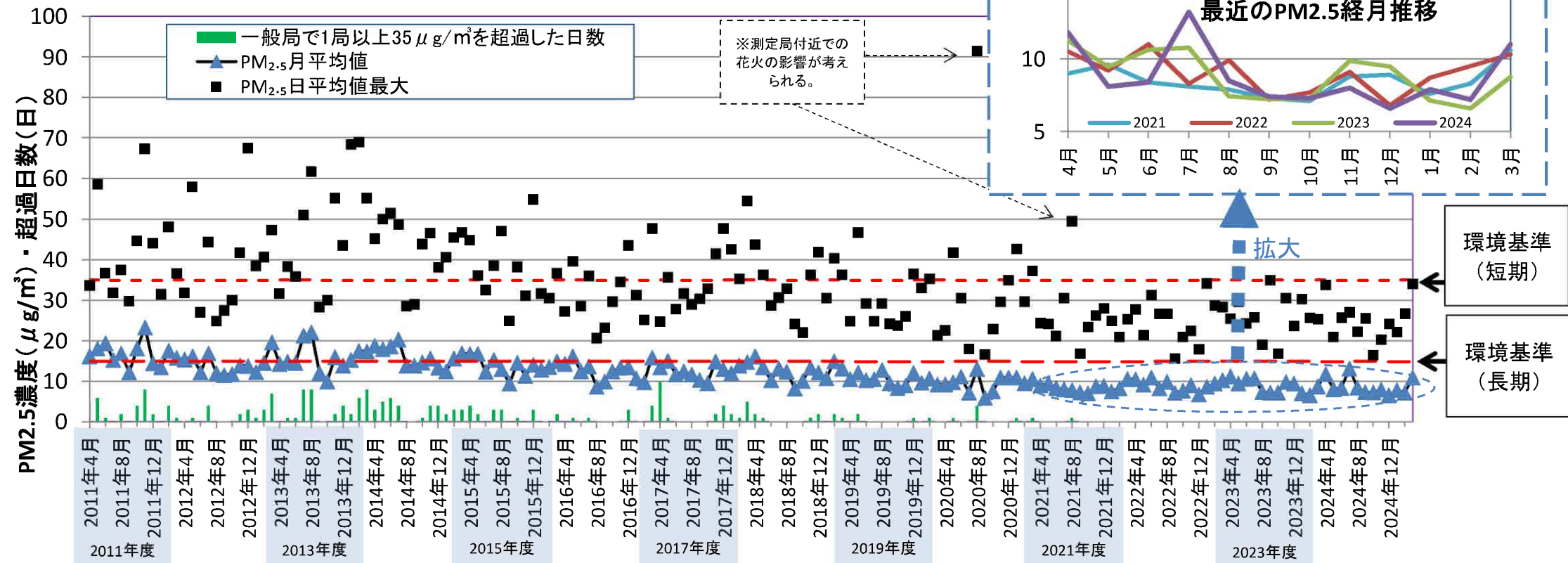
局 名	有効測定 日数	有効測定 時間数	微小粒子状物質 PM2.5										
			環境基準 達成状況	短期基準					長期基準				
				評価	98%値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	参考(年度値)			評価	年平均値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	参考(年度値)		
						2023	2022	2021			2023	2022	2021
檜原測定所	351	8403	○	○	18.3	19.2	17.9	17.0	○	6.5	6.5	6.2	6.2

※ バックグラウンド局のため、達成状況及び評価は参考である。

都内PM2.5の月平均濃度の推移【一般局】

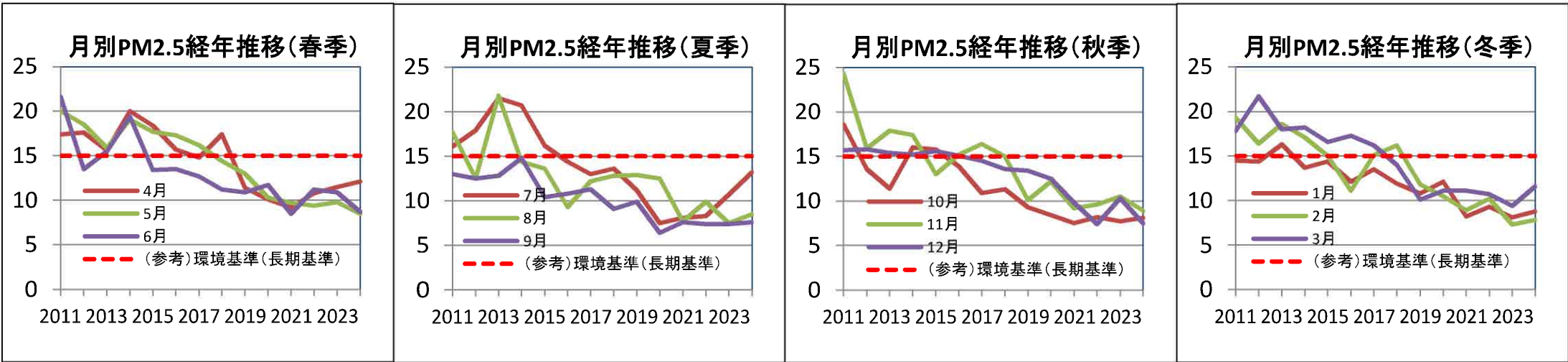
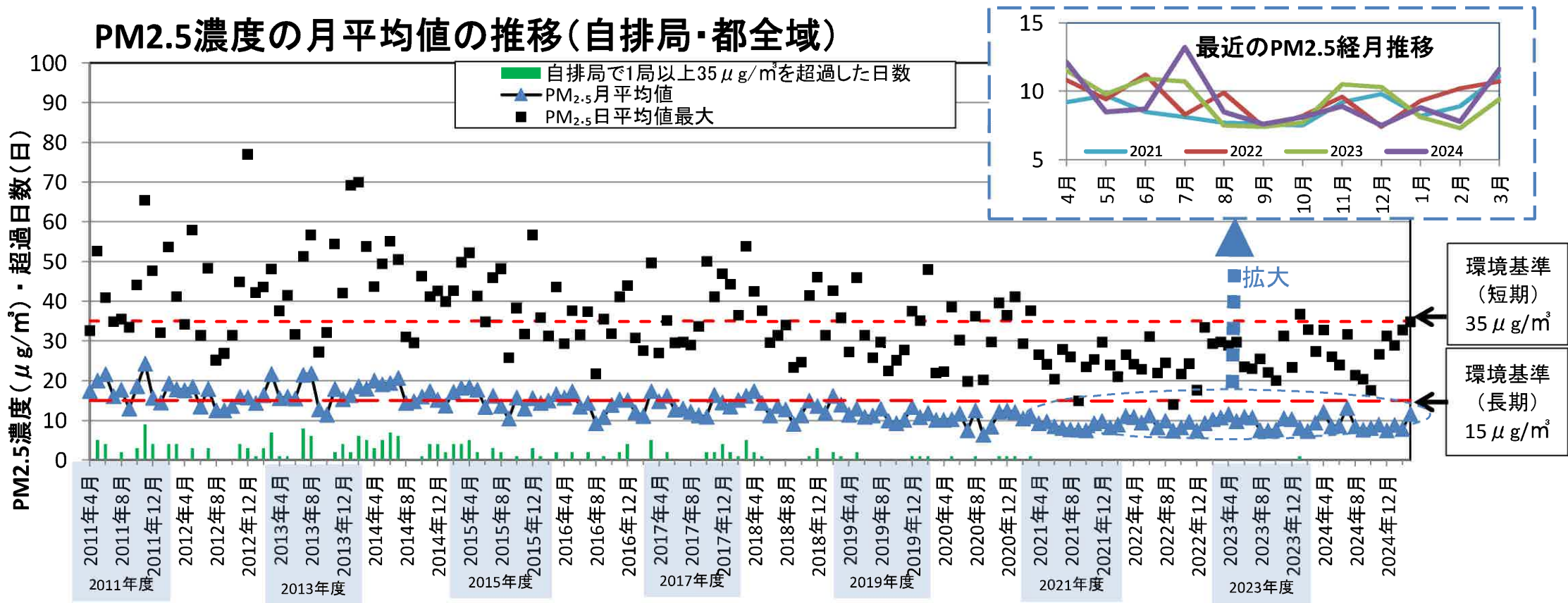
資料2-2-1

PM2.5濃度の月平均値の推移(一般局・都全域)



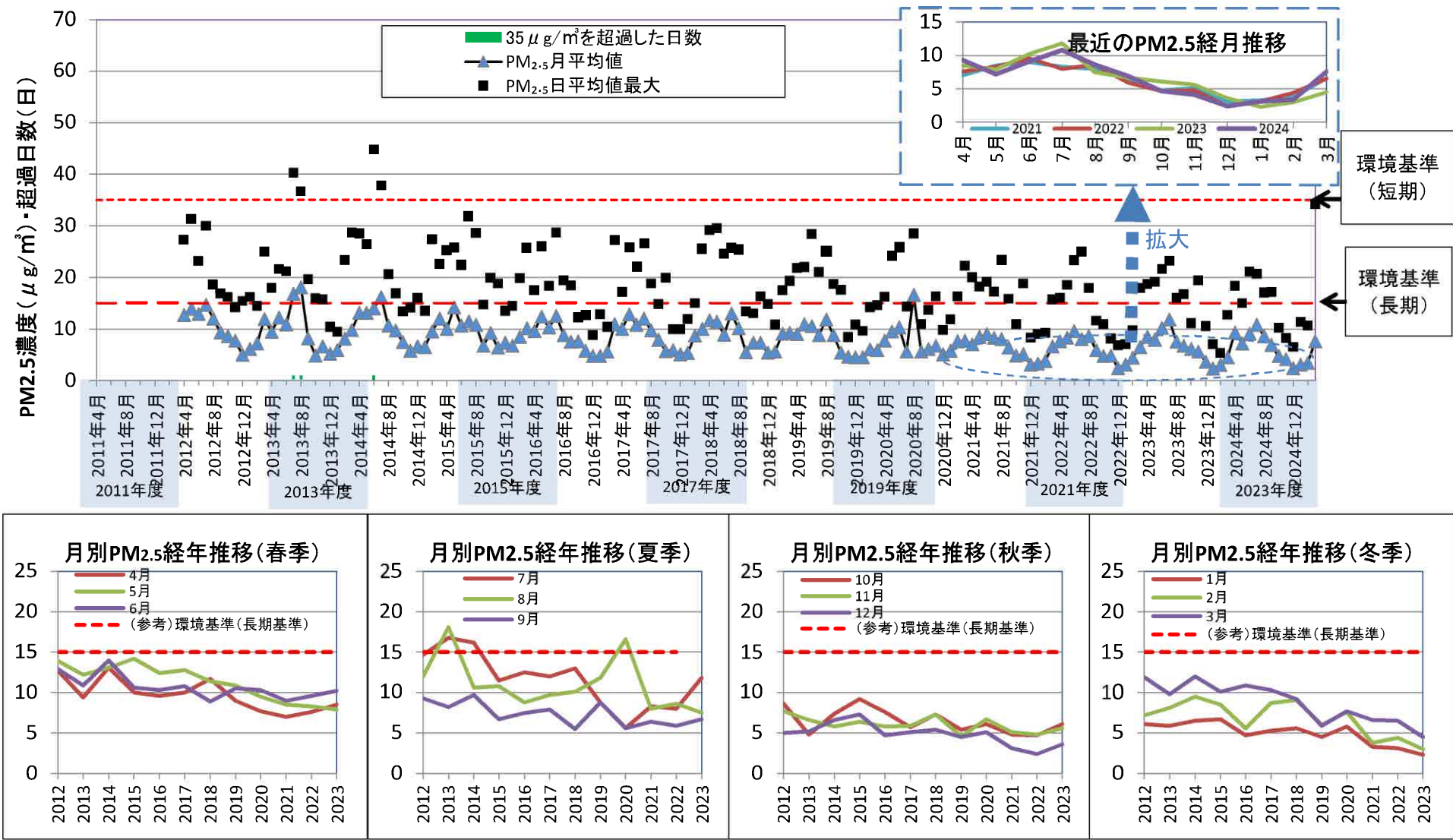
都内PM2.5の月平均濃度の推移【自排局】

資料2-2-2



都内PM2.5の月平均濃度の推移【檜原測定所(バックグラウンド)】

資料2-2-3



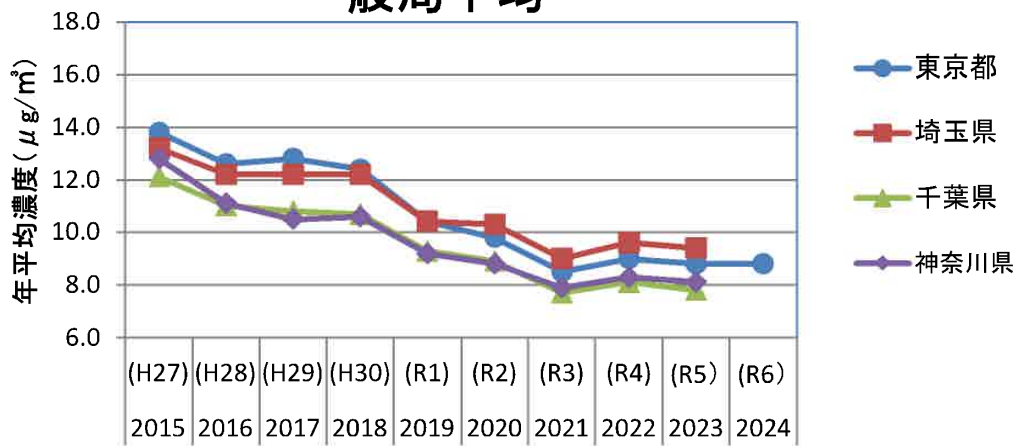
一都三県におけるPM2.5濃度の比較

(1) 年平均値

年度	一般局										有効局数		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	R4	R5	R6
東京都	13.8	12.6	12.8	12.4	10.4	9.8	8.5	9.0	8.8	8.8	46	45	46
埼玉県	13.2	12.2	12.2	12.2	10.4	10.3	9.0	9.6	9.4		49	49	
千葉県	12.1	11.0	10.8	10.7	9.3	8.9	7.7	8.1	7.8		53	53	
神奈川県	12.8	11.1	10.5	10.6	9.2	8.8	7.9	8.3	8.1		48	49	

元となるデータが未公表のため空欄とした(以下同じ)。

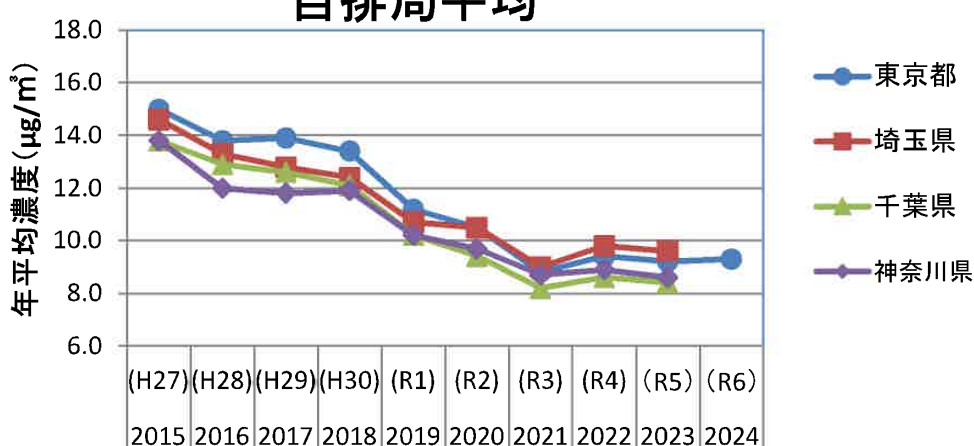
一般局平均



自排局

年度	自排局										有効局数		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	R4	R5	R6
東京都	15.0	13.8	13.9	13.4	11.2	10.5	8.8	9.4	9.2	9.3	33	33	33
埼玉県	14.6	13.3	12.8	12.4	10.7	10.5	9.0	9.8	9.6		17	17	
千葉県	13.8	12.9	12.6	12.1	10.2	9.4	8.2	8.6	8.4		15	15	
神奈川県	13.8	12.0	11.8	11.9	10.2	9.7	8.7	8.9	8.6		22	22	

自排局平均

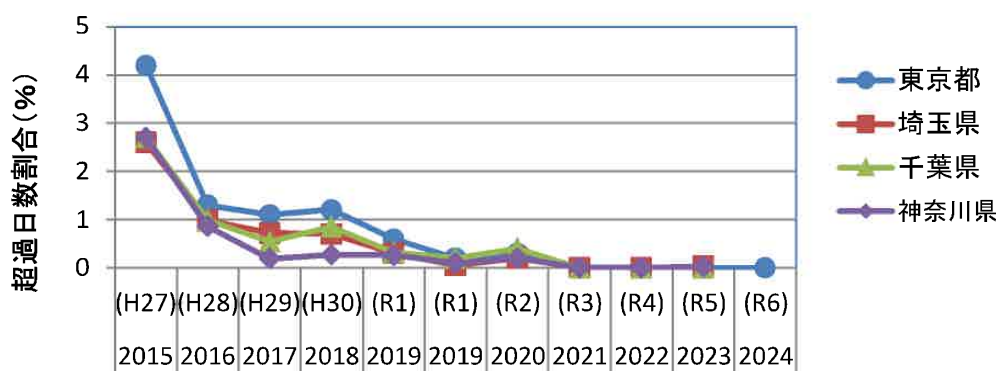


(2) 日平均が35 μg/m³を超過した日数の割合

日平均値35 μg/m³超過日数割合

日平均値35 μg/m³超過日数の割合(%)

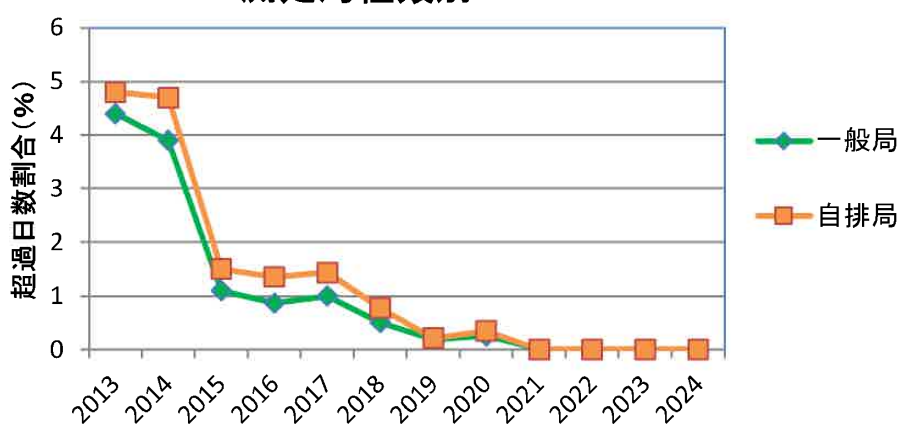
年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
東京都	4.2	1.3	1.1	1.2	0.6	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
埼玉県	2.6	0.98	0.7	0.7	0.3	0.05	0.2	0.0	0.0	0.0	
千葉県	2.7	0.99	0.5	0.9	0.3	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	
神奈川県	2.7	0.9	0.2	0.3	0.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	



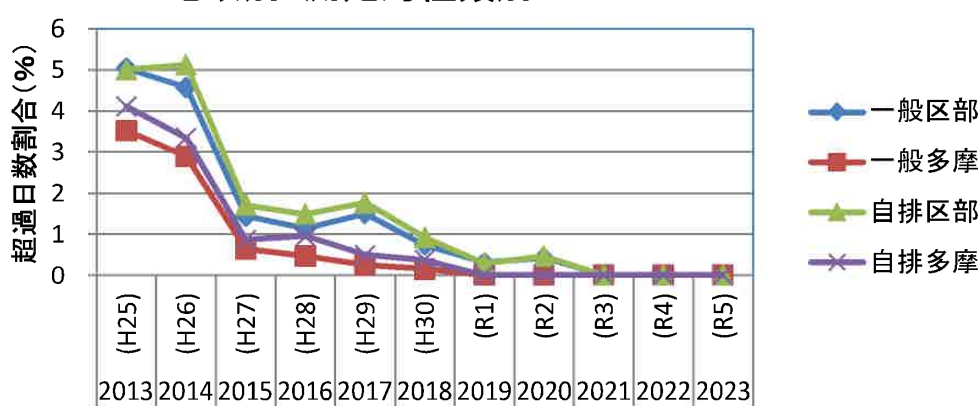
東京都の日平均値35 μg/m³超過延日数の割合(%)

年度	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
一般区部	5.0	4.6	1.4	1.1	1.5	0.7	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
一般多摩	3.5	2.9	0.6	0.5	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自排区部	5.0	5.1	1.7	1.5	1.8	0.9	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
自排多摩	4.1	3.3	0.9	1.0	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区部計	5.0	4.8	1.6	1.3	1.6	0.8	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
多摩計	3.7	3.0	0.7	0.6	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般局計	4.4	3.9	1.1	0.87	0.99	0.5	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
自排局計	4.8	4.7	1.5	1.35	1.44	0.8	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
都全域	4.6	4.2	1.3	1.1	1.2	0.6	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

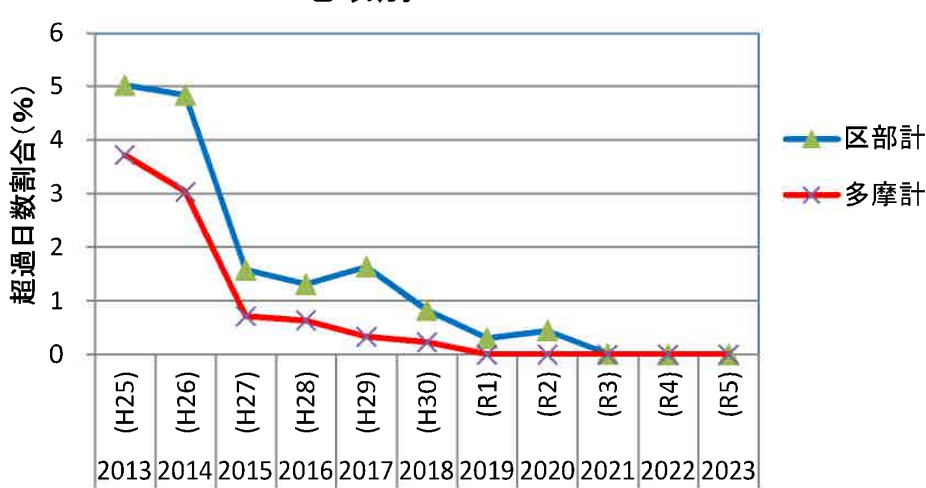
測定局種類別



地域別・測定局種類別



地域別



PM2.5 成分モニタリング結果(概要)

1 調査目的

東京都内の大気環境中のPM2.5を捕集し、質量濃度及び成分濃度調査を行い、環境中の濃度実態、経日変化、季節変化、地域の特徴等を把握する。

また、継続的に調査を行うことで、経年変化、対策効果の把握を行う。

2 調査内容

➤ 調査地点

一般環境大気測定局：足立区綾瀬、多摩市愛宕

自動車排出ガス測定局：永代通り新川、甲州街道国立

➤ 調査期間

2008（平成20）年度から年4回四季ごとに、2週間の調査を実施

2024（令和6）年度調査は下記の期間

令和6年5月9日（木）～ 令和6年5月22日（水）

令和6年7月18日（木）～ 令和6年7月31日（水）

令和6年10月17日（木）～ 令和6年10月30日（水）

令和7年1月16日（木）～ 令和7年1月29日（水）

➤ 捕集方法は次のとおり

分析項目	捕集方法		フィルタ	
	装置名	流量 (L/min)	材質	サイズ (mm φ)
質量濃度	LV-250R 型 (柴田科学)	16.7	PTFE (Cytiva, Teflo Lot No : 72264575)	47
無機元素成分				
イオン成分				
炭素成分			石英繊維 (Cytiva, 2500QAT-UP, Lot No: 22026)	

➤ 調査項目及び分析方法は次のとおり

表 調査項目

		分析項目	分析方法・分析機器
質量濃度		PM2.5質量濃度	フィルタ捕集-質量法（標準測定法） マイクロ天秤 METTLER TOLEDO XP26
成分濃度	炭素成分	有機炭素（OC1、OC2、OC3、OC4） 元素状炭素（EC1、EC2、EC3） 炭化補正值（OCpyro）	サーマルオプティカルリフレクタンス法 カーボンエアロゾル分析装置 Sunset Laboratory OCEC Carbon Analyzer Model 4L
	無機元素成分	ナトリウム（Na）、アルミニウム（Al）、ケイ素（Si）、カリウム（K）、カルシウム（Ca）、スカンジウム（Sc）、チタン（Ti）、バナジウム（V）、クロム（Cr）、マンガン（Mn）、鉄（Fe）、コバルト（Co）、ニッケル（Ni）、銅（Cu）、亜鉛（Zn）、ヒ素（As）、セレン（Se）、ルビジウム（Rb）、モリブデン（Mo）、アンチモン（Sb）、セシウム（Cs）、バリウム（Ba）、ランタン（La）、セリウム（Ce）、サマリウム（Sm）、ハフニウム（Hf）、タングステン（W）、タンタル（Ta）、トリウム（Th）、鉛（Pb）	酸分解/誘導結合プラズマ質量分析（ICP-MS）法 ICPタンデム質量分析計（ICP-MS/MS） ThermoFisherScientific iCAP TQ
	イオン成分	硫酸イオン（ SO_4^{2-} ）、硝酸イオン（ NO_3^- ）、塩化物イオン（ Cl^- ）、ナトリウムイオン（ Na^+ ）、カリウムイオン（ K^+ ）、カルシウムイオン（ Ca^{2+} ）、マグネシウムイオン（ Mg^{2+} ）、アンモニウムイオン（ NH_4^+ ）	イオンクロマトグラフ法 イオンクロマトグラフ Metrohm 940 Professional IC Vario

3 調査結果の概要

2024 年度の測定地点及び測定者は前年と同じであり、調査結果の概要は次のとおり。

(1) 全体傾向について

- 各時期、各局で濃度は経年的に減少傾向だが、2024 年度の夏季濃度がやや高いであった。
- 経年的な減少はイオン成分の減少による寄与が大きく、相対的に有機炭素の比率は上昇

(2) イオン成分について

- イオン成分は全体的な傾向として減少傾向
- 構成比は季節ごとに特徴がみられ、年度によって差はあるが、夏季は硫酸塩、冬季は硝酸塩が高い傾向
- 一方で、2 週間と限られた期間のデータであるが、2021 年度以降、夏季の硫酸塩、冬季の硝酸塩が共に低い傾向

(3) 炭素成分について

- 2024 年度は炭素成分が構成比の 3 ～ 4 割程度を占めており、有機炭素（OC）の方が元素状炭素（EC）に比べ多い
- 元素状炭素は全体的な傾向として減少傾向にある一方、有機炭素は横ばいの傾向がみられ、有機炭素の構成比が上昇

4 2008～2023年度のイオン成分濃度の地点別、季節平均

※ 2008年度秤量条件は、50%RH。

※ 2016年度より測定業者変更

(1)濃度

(2)構成比

